

令和5年度 第1回 教育課程編成委員会議事録

日時	令和5年5月17日(水) 14:40~16:15
場所	学校法人 ほっかいどう学院 くしろせんもん学校 3階 第7講義室
出席委員	北構 和代 (釧路市私立保育園連合会 副会長、昭和どんぐりの家保育園 園長) 山本 綾子 (釧路聖母幼稚園 園長、釧路市私立幼稚園連合会理事・会計) 戸田 竜也 (北海道教育大学釧路校 教育学部 准教授) 小野 信一 (日本福祉教育・ボランティア学習学会) 高橋 健一 (北海道介護福祉士会釧路支部 支部長、 道東勤医協 老人保健施設ケアコートひまわり介護長) 高橋 功成 (社会福祉法人釧路愛育協会 常務理事、養護老人ホーム長生園 園長、 特別養護老人ホーム武佐の里 園長、釧路地区老人福祉施設協議会 副会長)
オブザーバー	住尾 盛 (釧路市PTA連合会 顧問、昭和中央2丁目町内会 会長)
出席職員	杉村 典史 (くしろせんもん学校 校長) 武藤 篤訓 (くしろせんもん学校 副校長) 氏原 陽子 (くしろせんもん学校 こども環境科 学科長) 赤神 正倫 (くしろせんもん学校 こども環境科 教員) 伊東 利恵 (くしろせんもん学校 介護環境科 教員) 長谷 由香 (くしろせんもん学校 介護環境科 教員) 若生 みゆき (くしろせんもん学校 事務主任)

- 配付資料 ①レジュメ (委員名簿・次第など)
②令和4年度 第2回 教育課程編成委員会議事録
③令和5年度の学校運営について (運営方針等)
④その他資料①~⑩
⑤今年度の教育課程について (両学科資料)

1. 開会 (司会：氏原)

2. 次第

(1) 挨拶 (杉村)

(2) 今年度の委員と学校職員の紹介

(3) 令和4年度 第2回 教育課程編成委員会の議事録の確認

(4) 経過報告 (杉村)

(5) 今年度の教育課程について (企業連携を含めて)

①報告 ・運営方針 (校長) ~経過報告、学生の在籍・就職状況を含む

・こども環境科 (氏原)

・介護環境科 (伊東)

(6) 委員の皆様から教育課程の編成についての意見交換

(7) 質疑応答

小野委員から質問・意見

こども環境科で「こども食堂」での活動予定について、どのような関わりの内容か？また、「地域福祉論」の授業で学生に関われることが嬉しい。

学校側回答（氏原）

3グループにグループを作り、食事を作る部分も含め当日の準備で関わる予定。こども食堂が大勢の方に必要とされていることを感じてもらいたい。

小野委員から意見

他校とも関わられるような活動ができればいいと思う。自分も協力したい。

介護環境科では認知症サポーターとの関わりが素晴らしく、地域の方たちの生き活きとした様子は、学生が関わることで一層増すと感じる。地域とのつながりの大切さを体感してもらいたい。地域の人に認知症や障がいのことを正しく知ってもらいたいと思う。介護環境科での「地域福祉論」では、これまでよりももっと踏み込んだ内容で授業を計画したい。また、市内のボランティア活動で学生たちが（他校も含め）関わってくれる。学生には色々な体験をして欲しい。

高橋功成委員より質問

退学者を出さないための取り組みや、就職率100%への覚悟が伝わる。

メンタルの不調を訴える学生に対し、外部の人や機関に依頼する事や、実行したことは？

学校側回答（氏原）

ソーシャルワーカーの非常勤講師に依頼することがある。素直に「相談してみたい」という学生もいるが、「相談するということは自分には障害や何か問題があるということなのか」と感じてしまう学生もいる。

高橋功成委員より意見・質問

デリケートな問題だと思う。ソーシャルワーカーが関わってくれていることは良いこと。

介護環境科で校外学習について、通常講義との熱量は違う？

学校側回答（長谷）

校外学習と通常講義の差は、あまり感じない。なるべく感想を書いてもらい、思っていることを少しでも知りたいと思う。

高橋功成委員より意見・質問

感情を引き出すのは難しいことだと思う。コミュニケーションを大事にするために授業ではどのように組み入れているのか？コミュニケーションスキルアップした上で現場に来てくれることはとてもありがたいこと。

学校側回答（長谷）

色々な見方があることを感じられるように模索しながら関わっている。

高橋健一委員より意見・質問

こども環境科の遅刻・早退が問題になっている件について、出身校からも情報をもらって対応を考えているのは良いことだと思う。介護環境科での遅刻・早退への対応は？

学校側回答（長谷）

4・5月が重要だと思っており、数回続くような場合はご家族に連絡し、協力をお願いしている。

また、学生とも保護者ともしっかり話し合う場を設けるなどの対応をしている。

高橋健一委員より質問

感染症対策について、学校の対応は？

学校側回答（長谷）

毎朝の体温確認は引き続き実施したり、授業内容によってはマスクの着用もお願いしている。実習についても2週間前からの体調確認は継続して行く。

戸田委員より意見

18歳人口の激減に加えて、保育士・介護福祉士を志望する生徒の減少は危機感を持っている。専門学校だけの課題ではなく、地域としての課題と捉えている。どうやって増やしていけるか、関係者一体となって考えて行かなくてはと思っている。特別支援学校との交流で「ありがたい」との声を聞いた。学生の姿が見本となっていていい影響を与えている様子。今後も継続して欲しい。

北構委員より意見・質問

退学する学生が、自分の居場所が見つかって退学を選択したのなら、問題はないのかもしれない。

来年度の入学予定者数は？

学校側回答（氏原）

現在20名が合格している。

山本委員より意見・質問

市内学校への就職は、過去にもあった？

学校側回答（氏原）

学校への就職を目標に入学した学生もいた。

山本委員より意見・質問

小中学校教諭不足と報道等で耳にするので、現場は助かっているのではないかと思う。

グループホームでのアルバイトは、学生自ら希望して行っているのか？

学校側回答（長谷）

昨年度からお世話になっている。現場での経験を積んだ方が良いとのことで施設から声をかけてもらった。学生が社会に出た時のことを考え、育てて行こうと協力してくださる施設のご厚意。コミュニケーションに苦手を感じている学生に声をかけて実現した。

（7）意見交換 特になし

（8）質疑応答 特になし

（9）その他

閉会（司会：氏原）

以上
（記録：若生）